

管理職員の処遇・健康と家庭を守る砦 それが国土交通省管理職ユニオンです



NO. 223
2014. 4. 1

発行
国土交通省管理職
ユニオン
所在地
東京都千代田区霞ヶ
関 2-1-2 中央合同庁
舎 2号館
TEL 03-3509-1138
Eメール
k-union@alpha.ocn.
ne.jp
ホームページ
http://www7.ocn.
ne.jp/~k-union

管理職員の皆さんへのメッセージの加入を訴えます

私たちが国土交通省管理職ユニオンは、1998年2月に発足して今年で16周年を迎えます。

ユニオンは、職場において無権利状態で働いて見せろと言ったこともできませんでした。そのような状況から、組織を大きく発展させる中で、定年退職者の退職前6級昇格を実現し、5級定数も大幅に拡大し、管理職登用即5級昇格の足がかりを作り、再任用者の格付けを3級に評価替えさせ、「指導官」ポストを新設させ再任用者4級の展望を切り開き、管理職手当や管理職特別勤務手当の改善を人事院に粘り強く働きかけ実現、深夜や災害時の超勤支給問題につ

いても人事院に「検討する」状況に持ち込んでいます。

今年の「義務的再任用」の問題についても、要求の実現はありませんが、引き続き「常時勤務再任用」実現に向けて運動してまいります。

職場環境の改善でも、「おかしいことは、おかしい！」と言える職場環境を作ること、夜を問わない「事務所長メール」、無茶な業務の押しつけ等の過重労働等に対し毅然と対応し、当局に改善を促し、当局的に改善を促し、この成果は全管理職に共有されています。総務省や人事院も私たち管理職ユニオンが

存在を無視できない状況となっております。



＜要求前進の内容＞

退職前全員六級発令実現
課長・出張所長五級定数大幅増（管理職即五級発令へ）
再任用指導員ポスト新設、三級発令実現
再任用指導官ポスト新設、四級発令実現
管理職手当増額実現
管理職特別勤務手当の運用拡大
深夜・災害時超過勤務手当の支給→人事院検討する

許せません毎年の公務員いじめ

しかし課題は山積みです。公務員給与削減の一連の動き、国民犠牲を強いる前にその露払いと、また、「官民の賃下げ競争の当事者として、国家公務員の賃金をはじめとする諸制度が改悪されていきます。表は最近の公務員いじめの実態ですが、これに加えて今年の人的には「給与制度の総合的見直し」と称して、全国47都道府県の民間賃金の低い12県の民間賃金の平均に、国家公務員の賃金を準を合わせようとした試算では、「2%台半

ば」の下げ幅になりま。また、「50歳代後半職員における官民格差が相当程度存在している」として、55歳超職員のみならず、55歳引き下げも狙っている。こうした動きを阻止すると同時に、「官民賃下げ競争に歯止め」を掛けるため、官



民一体となった賃上げ闘争の構築にユニオンは奮闘していきます。

『連年にわたる55歳超職員攻撃』

- 1999年より連続マイナス勧告
- 2005, 8 制度見直しにおける4.8%の給与削減
- 2010, 8 55歳以上の六級在職職員の1.5%賃金力
- 2012, 2 特例法強行採決 7, 8%カット
- 2012, 11 退職金削減成立
- 2012, 12 昇格制度の人規改正を交付
- 2013, 6 昇給抑制成立

